

# めぐみ

ガラシアニュース

<http://www.gratia.or.jp/>

2022

No. 172



## 目次

### 聖母月

新年度から看護部長に着任いたしました  
おくすりのお困りごとありませんか  
コロナ禍におけるニューライフガラシアの取り組み

### 復活祭と聖母月

『キャベツと豚こま肉のキムチマヨだれ』

『キャベツの芯 梅あえ』

## お知らせ

- 2022年4月から診療報酬が改定され、個人負担額の変更や支払い額が変わる場合があります。ご不明な点がありましたら医事課窓口でお尋ねください。



# 聖母月



医療法人ガラシア会  
施設長  
石丸 伸司

5月について英語で March winds and April showers bring forth May flowers という表現があります。3月の強く冷たい風、そして4月のシャワー（雨）が、5月の花々を連れてくるという意味です。日本では4月に新しい年度を迎え本来なら心機一転のはずですが、新型コロナ禍は収束せず、ウクライナでの戦争にも終わりが見えません。

コロナ禍に伴う行動制限は、3年も続くと弊害が目立つようになりました。小学生の中には、同級生と路上でノーマスクでばったり会うとお互いの顔がわからない事もあるそうです。病院や施設での面会制限は、入院入所者やそのご家族それぞれに大変な負担を与えています。一方、ウクライナへのロシアの侵攻は世界中に衝撃を与えました。東西冷戦が終わった時には、やっと本当の平和が来ると喜んだものでしたが、振り返ればその後もユーゴスラビア、アフガニスタン、イラク、シリア、スーダン、ミャンマー等、世界で戦争や内戦の絶えることはありません。人間界の苦しみや狂奔をよそに、自然の季節

はいつものように巡ります。通りや山々では様々な花が咲き競い、鳥は命の喜びを歌っています。カトリック教会では、この5月をマリアと共に喜び祝う聖母の月と定めています。イエスが復活した後、マリアは天に召されるまでの日々を、イエスの弟子たちとともに過ごされませぬ。弟子たちはイエスから、他人を自分自身と同じように愛し、人々に仕えるよう命じられていました。聖母であり、教会の母でもあったマリアが弟子たちとどのような時を過ごされたのか、思いめぐらせ、記念する月です。

カトリック教会では、第一次世界大戦（1914-1918）の最中の5月に、マリアがファティマ（ポルトガル）の貧しい農家の子供たちのもとに現われ、平和のために祈るよう求めたということをお大切にしています。今この時も、同じようにマリアと共に祈ってくださる事に信頼して、私たちが疫病や戦争への恐れから解放され真の平和が実現するよう、祈り続けたいと思います。

## 新年度から看護部長に着任いたしました



ガラシア病院  
看護部長  
浅野 弘美

この度、4月1日付けガラシア病院看護部長に着任いたしました浅野弘美です。

佐賀県で看護学生時代まで過ごし、循環器病センター（現循環器病研究センター）に就職後、刀根山病院（現大阪刀根山医療センター）・大阪医療センターで看護管理に携わり、ご縁がありまして当院に参りました。井上前看護部長には大阪医療センターの看護師長や副看護師長が大変お世話になった存在であり、ご縁があったのだと思っていましたが、院内に一步足を踏み入れてみると、子供が保育園に通園していた時の親仲間・循環器病センター勤務時の患児親族の方・循環器病センターでお世話になった医師・刀根山病院の看護スタッフ等、多くの人と人との繋がりに改めて気付かされました。

居住地近隣で人との繋がりを気にしたのは、恥ずかしながら昨年度に自治会委員に抜擢された以降です。自治会の成り立ちや防犯対策、災害時の緊急連絡や避難所など、初めて知ることが多々ありました。

職場では様々なツールがあり、災害拠点病院としての職員の約束事等もありましたが、居住地近隣のことについては、情報皆無のお粗末な住民でした。この様なこともあり、この北摂の地で勤務できることの感謝とその意義、先人たちの功績に敬意を示し職名に恥じない、思慮と行動ができるよう実践していきたいと一層身の引き締まる思いです。

地域包括ケアシステムが云われ、病気を抱える方々の住まいと住まい方は年々変化しております。当院の外来や入院病棟にもその変化は現れているようです。この様な中で、地域密着型のこの病院・看護部であるために、まず当院の持つミッション・ビジョンをしっかりと理解し、顔の見える職場だからこそできる職員間の協働と、手と目と心で看護を実践できる看護職員が、一層その力を発揮できるよう尽力していきたいと考えています。

皆様、今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## おくすりのお困りごとありませんか

病院に入院される際、患者様の持参されたお薬を我々薬剤師は確認させていただいています。「おくすりの様子」で入院前うまく管理できていたのか、ご苦労されていたのかが垣間見えます。一回に飲むごとに薬局で包んでもらっている方、おくすり箱を利用して飲み忘れや飲み間違いがないようにしている方、錠剤を1錠ずつ切り離して数種類をひとつの綺麗なお菓子の缶に入れていらっしゃる方。残り数がバラバラだと飲み間違いや飲み忘れがあったのだろうかかと心配になります。1錠ずつ切り離していたおくすりをシートごとすっかりそのまま飲んでしまって消化管が傷つき、内視鏡でおくすりを取り出してもらった患者さんのことを思い出します。

「おくすりを正しく飲む」ということは、実は難しいことです。

「家におくすりがいっぱい余って困っているけれど、受診のたびに先生は次から次へとおくすりを出して下さる。家に余っているという先生に怒られそうだから黙っておこう」

「症状がよくなったのでおくすりをやめることはできないだろうか」

「こんなにたくさんおくすりを飲んでいておくすりどうし喧嘩しないかな」

「おくすりが大きくて飲みにくいので困っている」

「同じような効果で1日3回ではなく1日1回のおくすりはないでしょうか」

等、実はおくすりのお困り事はいろいろあるけれど、それをなかなか主治医の先生にうまく伝えられない方も多いようです。そういう時は、どうぞ薬剤師に声をかけてください。主治医の先生と相談してよい方法を一緒に考えます。もちろん、患者さんやご家族が怒られることはありませんのでご安心ください。

薬剤科 科長 戸祭 庸子

## コロナ禍におけるニューライフガラスシアの取り組み

ニューライフガラスシアにもコロナの波が襲ってきました。入所者様・職員に感染者が相次ぎ、感染拡大を防ぐために、やむなくそれまでの施設生活に制限せざるを得ない状況になりました。面会については、ガラス越しでの面会を続けていましたが、施設内で感染が広がり、感染した入所者様は居室から出ることができず面会が出来なくなりました。ご家族からも現状を知りたいとの要望もあり、他者との接触を極力少なくするため、それに代わる方法としてリモートでの面会を実施しました。2台のパソコンにWi-Fiを利用してネットをつなぎ、パソコンの画面越しでの面会を行いました。モニター越しでの慣れない面会で入所者様・ご家族も戸惑いもあり、スタッフもパソコン操作がうまくいかずに顔が半分しか映らなかったり、壁しか映らなかったりと失敗続きでした。何か特別な状況を感じたのか、最愛の奥様に今生の別れを述べられる場面もありました。施設内での感染は約1か月間で終息し、感染した入所者様も回復して少しずつ以前の施設での生活に戻ってきています。

ここからは転んでもただでは起きないニューライフガラスシアです。施設長の提案で、終息の報告と感謝の意味を込めたライブコンサートを企画。より多くの皆さんに届けたい気持ちと三密の状態をさける手段として、リモートでの面会を応用したライブ配信での終息コンサートを思いつきました。



コロナの感染があったフロアからの生演奏を撮影し、その映像を他のフロアやデイルームにそのまま配信し同時に見てもらうものです。試行錯誤の上、配信は成功し多くの皆さんに同時に視聴していただくことが出来ました。コロナの感染から多くのことを学び、そこから新しい取り組みや斬新なアイデアをこれからも発信していきます。

老健事務部 佐藤 光宏

## 復活祭と聖母月

今年の復活祭は4月17日、遅咲きの山桜が満開の晴天に恵まれた美しい日でした。

イースターエッグ(写真)は数日前から準備を始め、金曜日からは職員にお祝いの卵をお持ち帰りいただきました。

いのちのシンボルであり、いのちそのものの卵は、ひよこという新しいいのちに代わることで、私たちにとっても多くの栄養素を提供してくれます。

イエスキリスト様は十字架上で亡くなられ3日目に復活されました。私たちを永遠の死から救い、苦しみ、悲しみを乗り越える力、喜びと幸せな生活ができるようにご自分を天の父におささげになりました。

『復活祭 蜜蜂は蜜を ささげ飛ぶ』と上田あき子の句がありますが、私たちも自分が一番大切にしているものを他に差し出せたらどんなに幸せでしょう。



5月はマリア様の月として世界中でイエスキリスト様の母、私たちすべての人の母として讃え、お祈りをささげる特別な月です。世界中の子どもが必要な衣食住と愛情豊かな生活の環境が与えられますように、ご一緒にお祈りしましょう。また、コロナウイルスの感染とミャンマーやウクライナの戦いが一日も早く終息しますように心を合わせてお祈りしましょう。

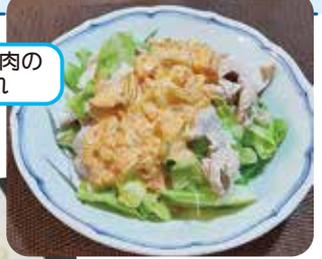


パストラルケア室 Sr.高野 美智代

## 使い切りレシピ

# 『キャベツと豚こま肉のキムチマヨだれ』

キャベツと豚こま肉のキムチマヨだれ



キャベツの芯 梅あえ

### 材 料 (2人分)

- ◆ キャベツ …………… 200g
- ◆ 豚もも肉薄切り …………… 120g

### キムチマヨだれ

- ◆ 白菜キムチ (荒く刻む) …… 50g
- ◆ マヨネーズ …………… 大さじ2
- ◆ しょうゆ …………… 小さじ1/4
- ◆ ごま油 …………… 小さじ1

エネルギー 265kcal 塩分 1g (1人分)

### 作り方

- ① キャベツを一口大にちぎり、耐熱容器に入れて、レンジ600wで1分加熱する。
- ② 鍋に湯を沸かし、豚肉を広げて入れてゆで、水けをきる。
- ③ キャベツと豚肉を混ぜ合わせ、キムチマヨだれをかける。

# 『キャベツの芯 梅あえ』

エネルギー 30kcal 塩分 0.7g (1人分)

### 材 料 (2人分)

- ◆ キャベツの芯 …………… 40g
- ◆ 青じその葉 …………… 1/2枚

### ドレッシング

- ◆ 減塩梅干し小 (荒く刻む) …… 1/2個
- ◆ 酢・サラダ油 …………… 各小さじ1
- ◆ 塩 …………… 少々
- ◆ 白いりごま …………… 少々

### 作り方

- ① 芯はうす切りにし、耐熱容器に入れて、レンジ600wで30秒加熱する。
- ② ①とドレッシングを混ぜ合わせ、いりごまをふる。

キャベツはくせがなく食べやすいので、いろいろな食材とあわせやすい野菜。使いやすい豚肉と混ぜて、たれをかけるだけの簡単レシピです。

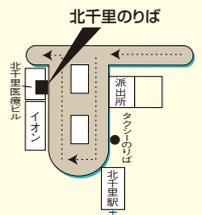
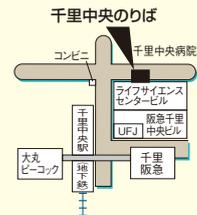
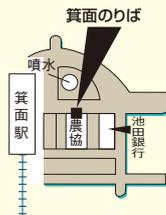
ビタミンCが豊富で、芯のまわりに多く含まれます。捨てるに使いましょう。

栄養科 管理栄養士 由里 孝子



●千里中央・北千里・箕面駅からシャトルバスを運行しています。

〈送迎バス各のりば〉



## ガラシア訪問看護ステーション

TEL 072-727-1866 FAX 072-729-3311  
2020年8月から土曜日も開設しています

介護老人保健施設

## ニューライフガラシア

TEL 072-729-2346 FAX 072-729-7951

指定居宅介護支援事業所

## ケアプラン ガラシア

TEL 072-729-2347 FAX 072-729-3311

## ガラシア園田クリニック

兵庫県尼崎市小中島2丁目17-1  
TEL 06-4960-3800



医療法人ガラシア会  
**ガラシア病院**

日本医療機能評価機構認定病院

〒562-8567 大阪府箕面市粟生間谷西6丁目14番1号  
TEL.072-729-2345 FAX.072-728-5166  
<http://www.gracia.or.jp/>



### ■診療受付時間

平日 / 8:30~11:30  
12:30~15:30  
土曜日 / 8:30~11:30

### ■休診日

日曜、祝祭日、土曜午後  
12/30~1/3

## 編集後記

新緑の季節となりました。ステイホームが長く続いたせいから日差しのある屋外に出ると心が洗われるような感じがします。紫外線が強い季節ではありますが、人の居ない屋外でマスクを外し、新鮮な空気を思う存分にに取り込みたいですね。草木の緑で目を癒しながら植物が作ってくれる新鮮な酸素を美味しくいただき、身も心もリフレッシュしましょう。

